

## **日清製粉グループ 第3四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想**

**第3四半期累計は売上高3,541億39百万円、経常利益199億27百万円。**

**通期業績予想は市場、経済環境の急変を踏まえ、当初予想を据え置く。**

### **[平成21年3月期第3四半期連結累計期間決算]**

(株)日清製粉グループ本社(社長 村上 一平)の平成21年3月期第3四半期連結累計期間につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が昨年4月に30%、昨年10月にはさらに10%引き上げられるなど調達コストの上昇が継続する中、新製品の発売や広告宣伝活動の積極的な推進など主力製品の需要喚起に取り組みました。また、更なる生産性の向上を目指した東灘製粉工場の能力増強工事が昨年9月に完了し稼働したのを始め、徹底的なコスト削減に努めてまいりました。一方、調達コストの大幅な上昇は、内部努力で吸収できるレベルを超えているため、価格改定を実施いたしました。

この結果、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,541億39百万円となりました。利益面では、大幅なコストアップを、グループを挙げてのコスト削減の取り組み強化、価格改定などによりカバーし、営業利益は179億69百万円、経常利益は199億27百万円、四半期純利益は108億70百万円と順調に推移しました。特に、販売促進費低減など採算性の改善に努めた食品事業の業績回復が利益貢献いたしました。

### **[平成21年3月期通期連結業績予想]**

第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移いたしましたが、市場、経済環境の急変を踏まえて事業を取り巻く環境が先行き不透明感を一段と増していることから、通期業績予想につきましては、当初予想を据え置いております。世界的な金融危機や株式市場の急落を契機に世界経済全体の低迷が深刻さを増し、日本経済も景気の減速感が急激に強まっている中、当社グループにおきましても、連結子会社のNBC(株)が通期業績予想を大きく下方修正するなど事業環境は大変に厳しい様相を呈し、主力の製粉、食品事業においても、輸入小麦の政府売渡価格の度重なる引上げや景気の悪化により、さらなる需要減退や低価格志向が強まるものと想定しております。

当社グループにおきましては、こうした厳しい環境を乗り越えていくために、すべての領域にわたり更にコスト削減を進めていくとともに、販売面においては継続して広告宣伝活動の強化、新製品開発により付加価値製品の出荷伸長に注力してまいります。また、当社グループ4社共同で海外におけるベーカリー顧客向け事業開始を本年4月頃予定するなど、海外事業拡大のスピードアップを図ってまいります。更に、食の安心・安全への関心が高まっている中、品質保証体制を一層充実させてまいります。

以上により平成21年3月期の連結業績予想につきましては、当初の予想通り、売上高は4,750億円(前期比110.0%)、営業利益は195億円(前期比101.6%)、経常利益は222億円(前期比100.1%)、当期純利益は125億円(前期比112.1%)としております。

以 上